

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

2024年 5月 24日

堺市長 殿

提出者

住 所 大阪府堺市堺区熊野町西3-2-7 ダイワビル4階

氏 名 日鉄プロセッシング株式会社
代表取締役社長 赤松将雄

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 072-341-6430

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、2023年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	日鉄プロセッシング株式会社 堀工場
事業場の所在地	大阪府堺市堺区出島西町1番地
事業の種類	22:鉄鋼業
産業廃棄物処理計画における 計画期間	2023年4月1日～2024年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

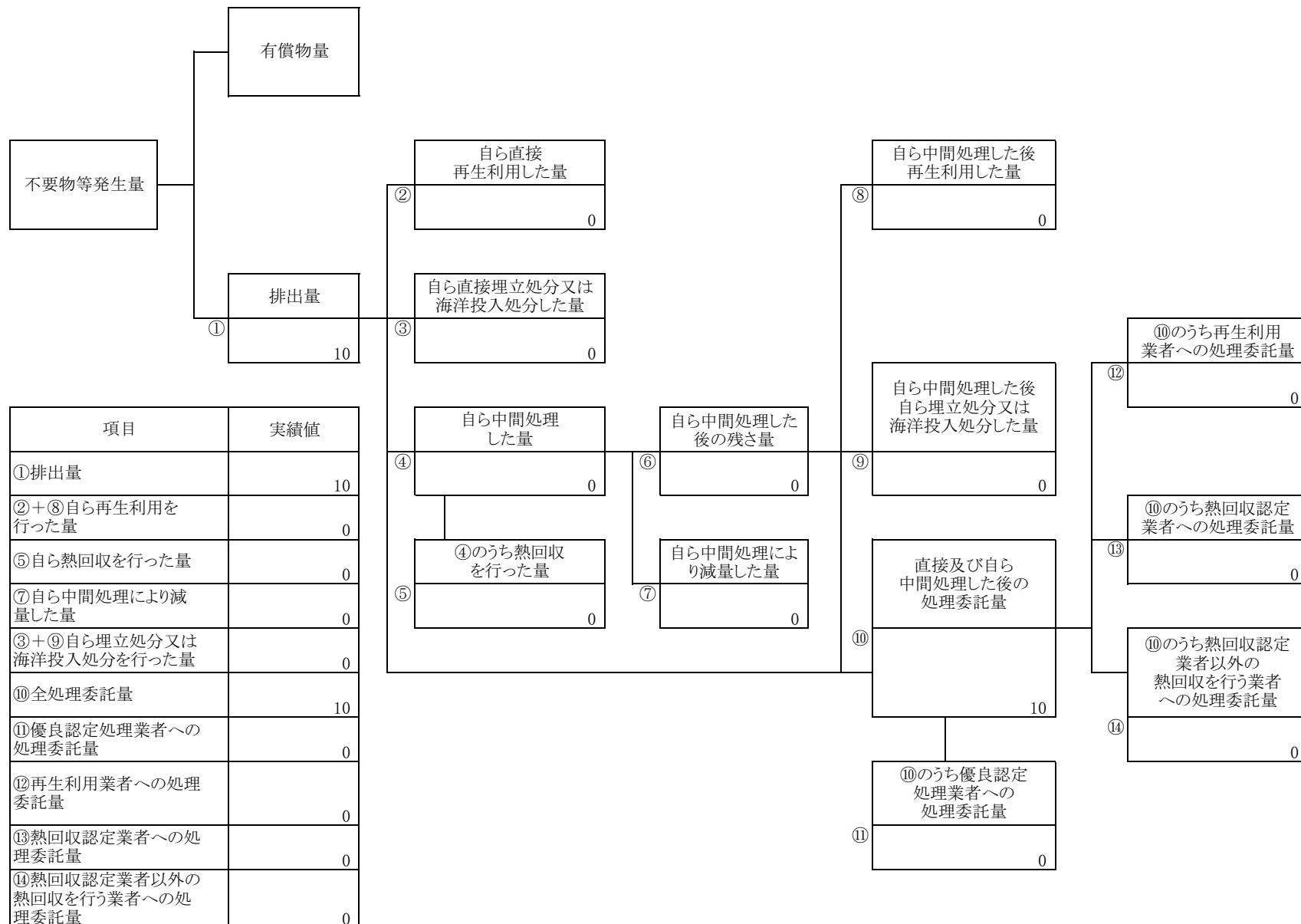
項目	目標値	項目	目標値
排出量	1032t	全処理委託量	1032t
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への 処理委託量	787t
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	再生利用業者への 処理委託量	319t
自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への 処理委託量	12t
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	7t
※事務処理欄			

(日本工業規格 A列4番)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ①安定型混合廃棄物(雑ゴミ)

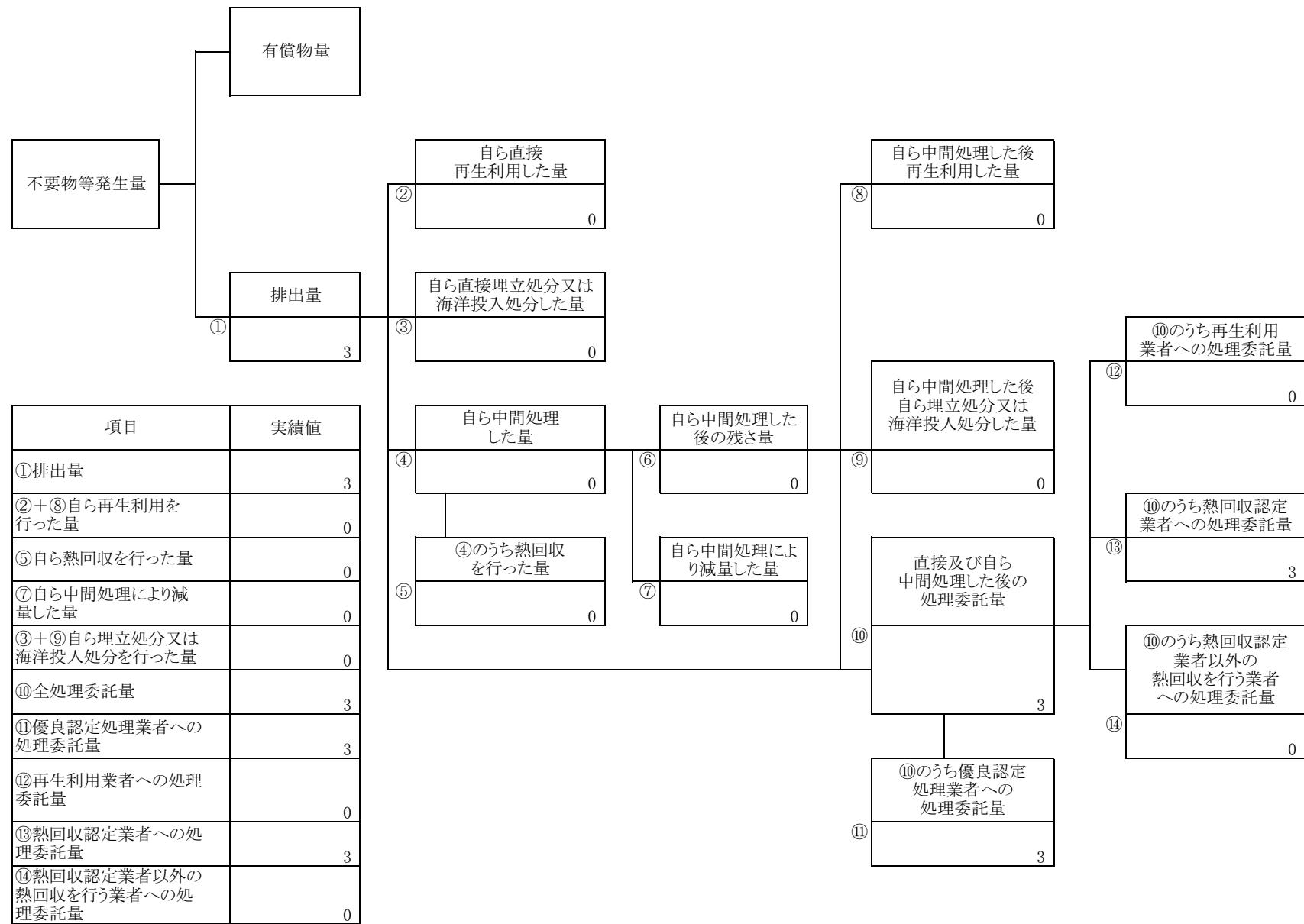
)



計画の実施状況

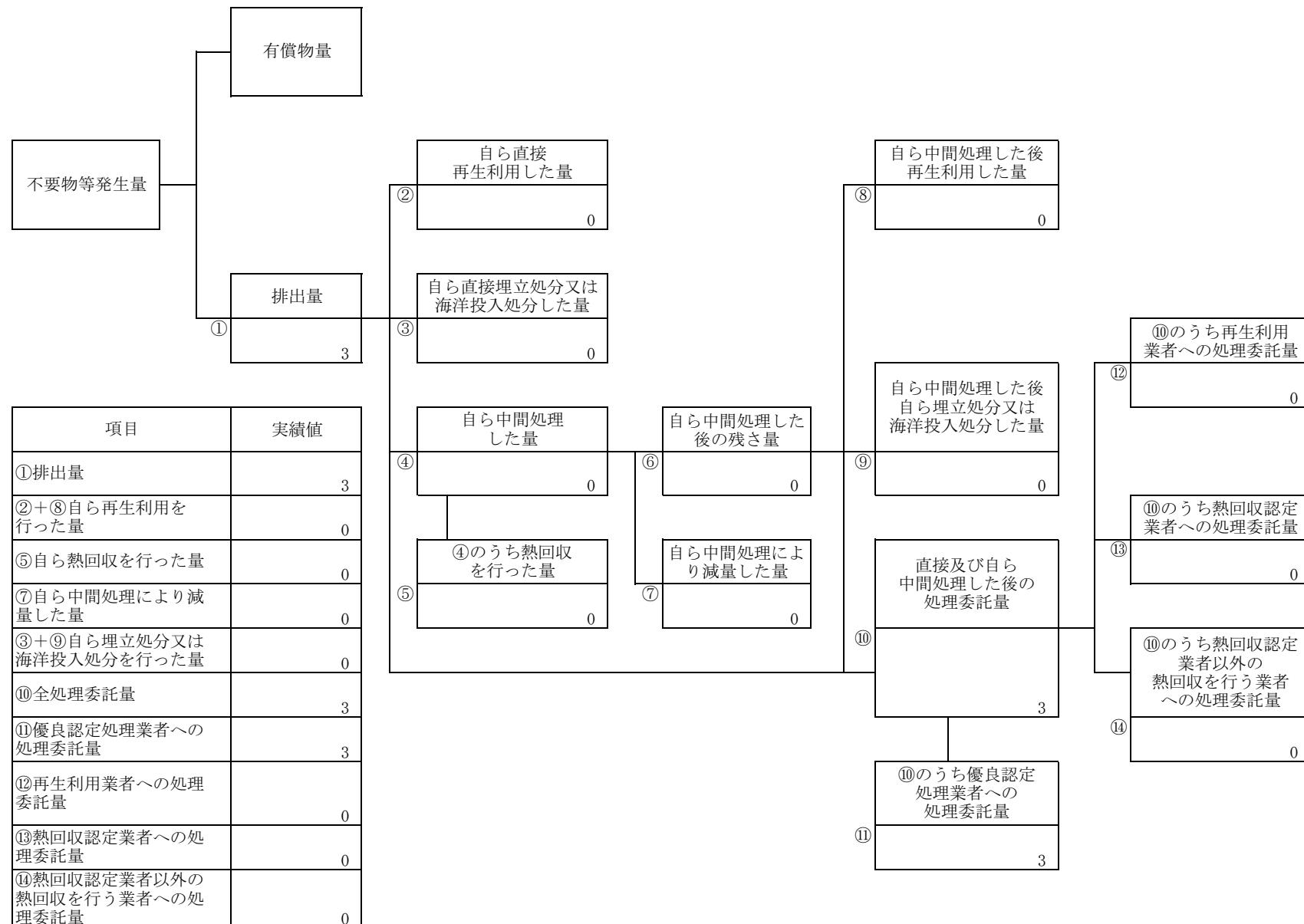
(産業廃棄物の種類: ②廃油)

(第2面)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ③木くずA(ペレット・長尺角材))

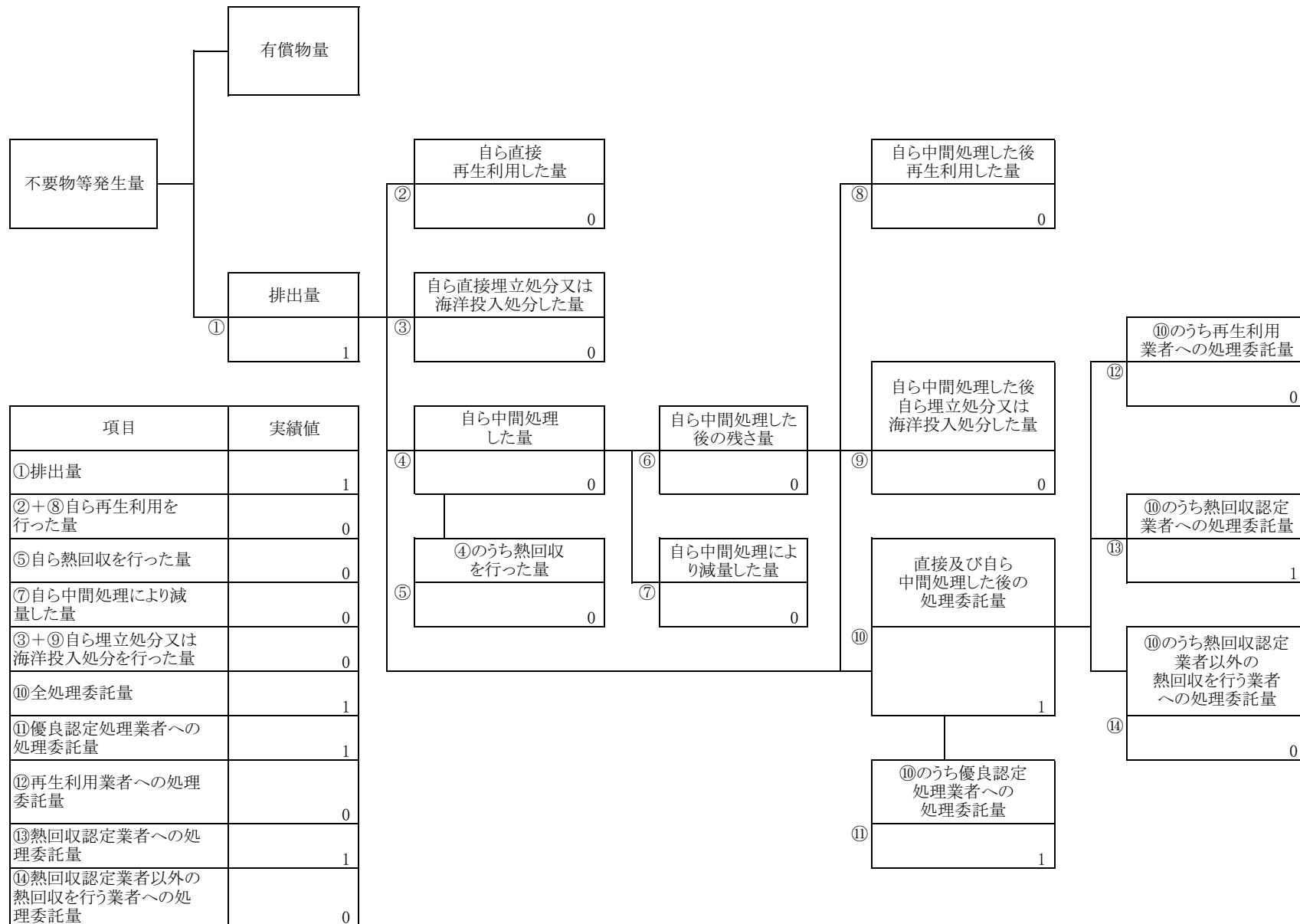


計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ④木くずB(燃え殻))

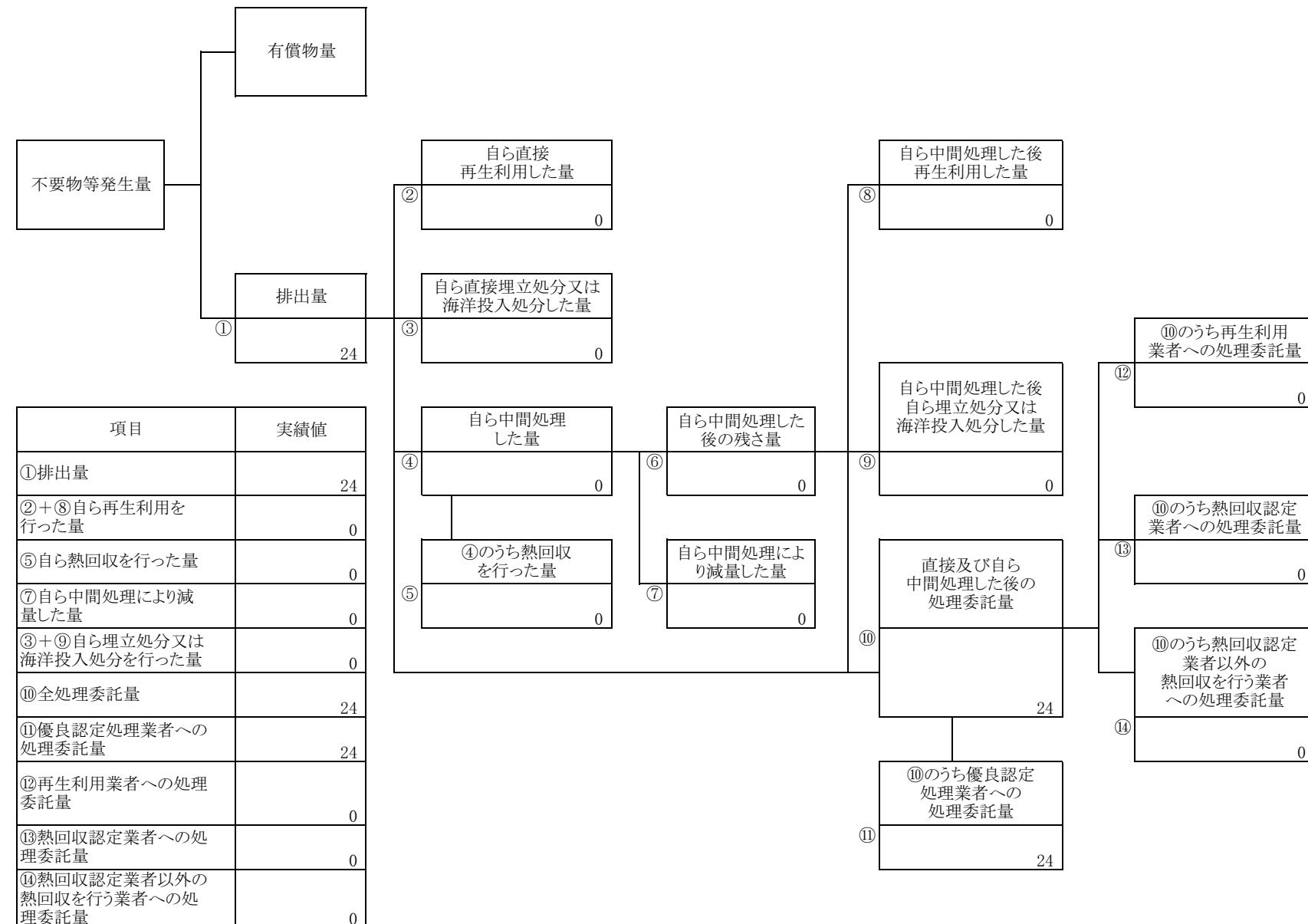
)

(第2面)



計画の実施状況

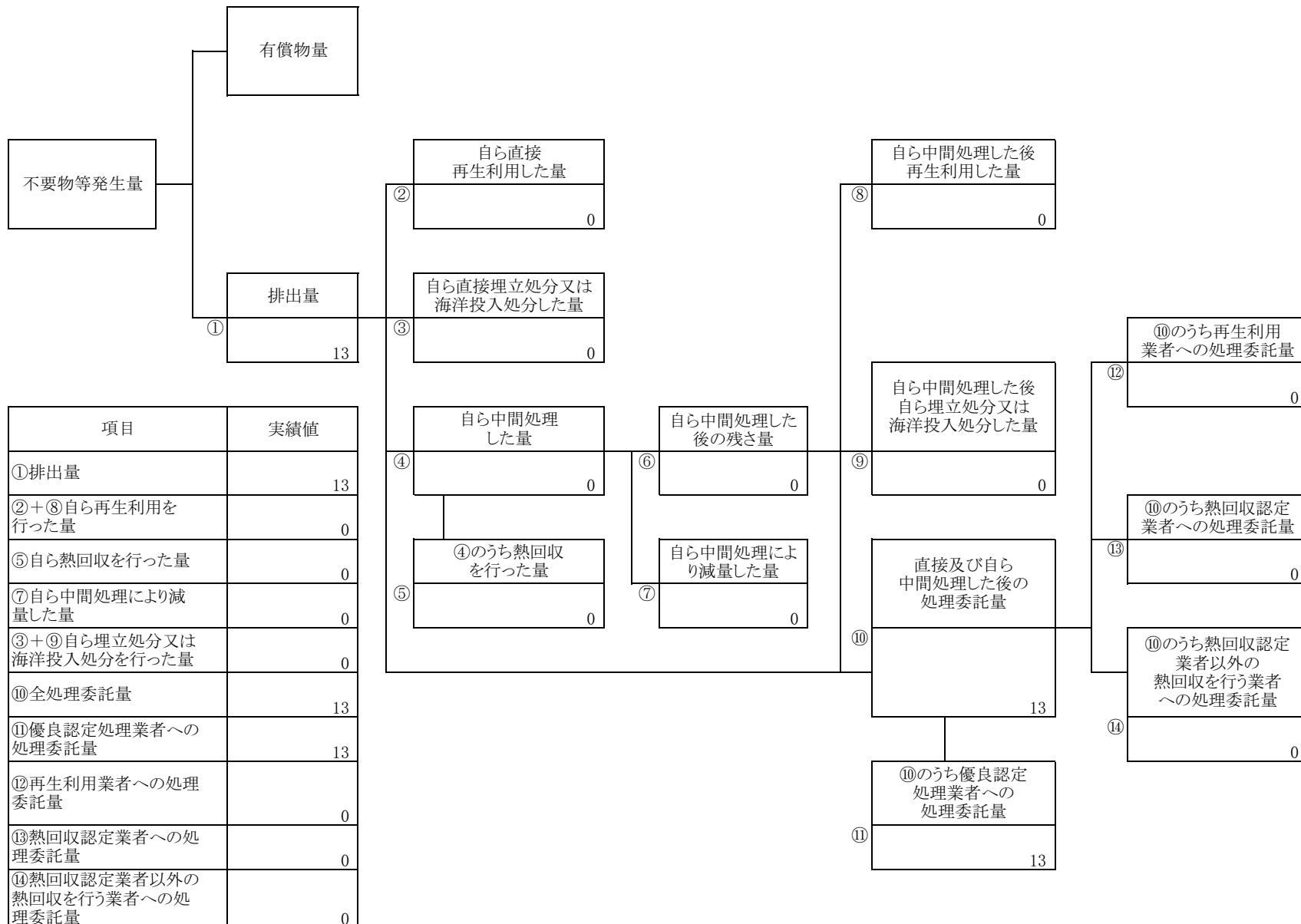
(産業廃棄物の種類: ⑤廃アルカリ A工程(石灰))



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ⑥廃アルカリ B工程(消石灰))

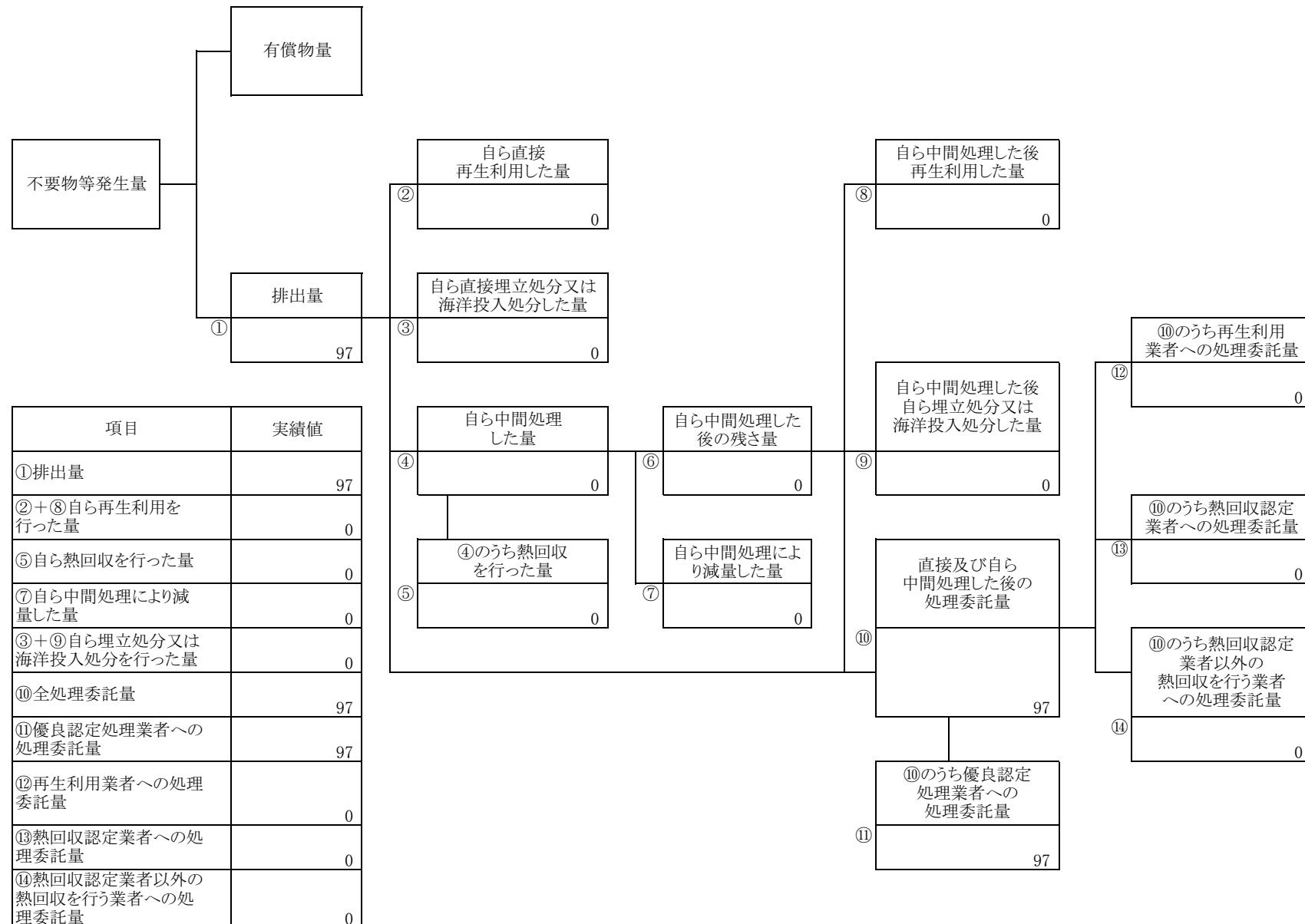
(第2面)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ⑦廃アルカリ C工程(ユーベ))

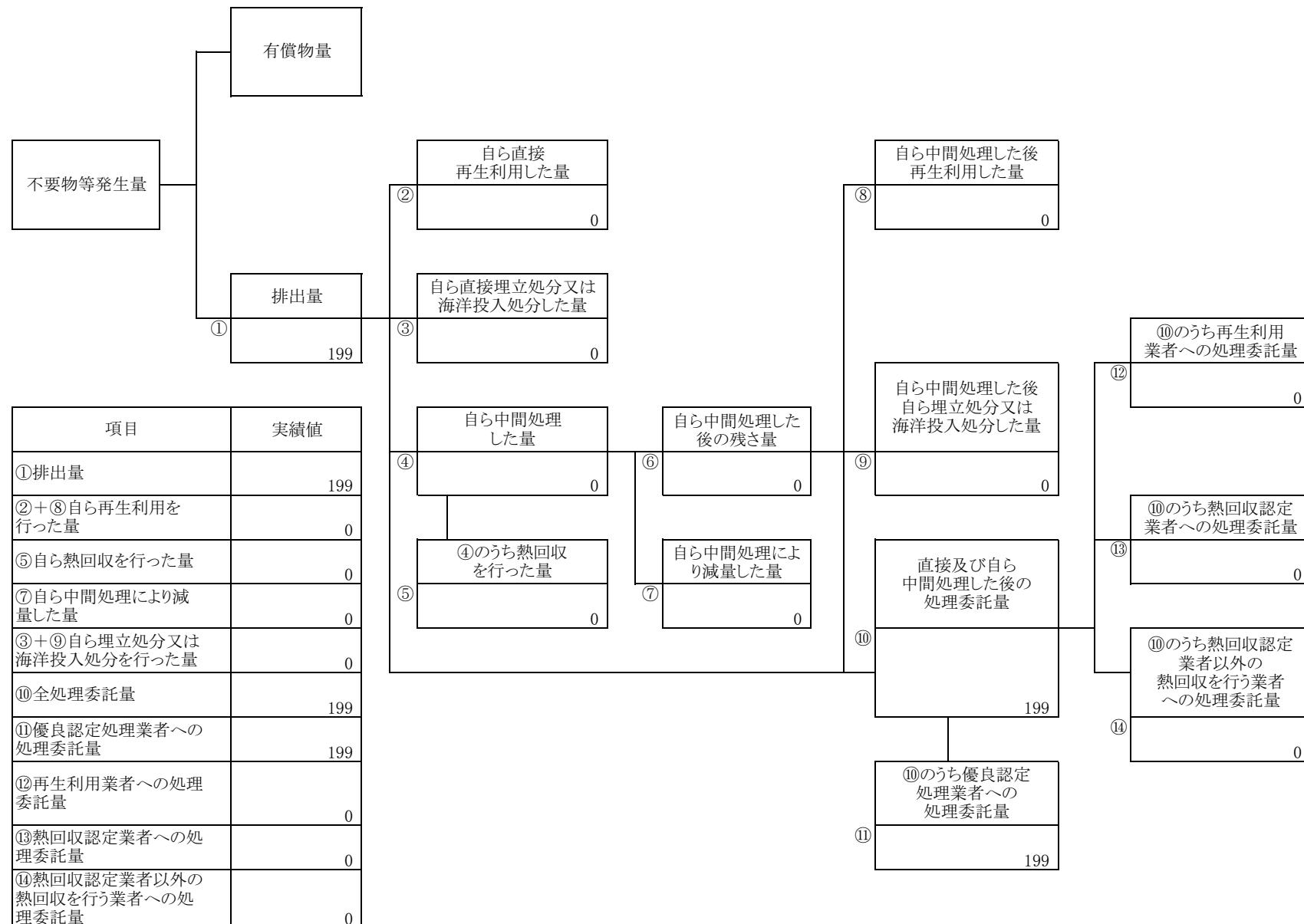
(第2面)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ⑧廃酸 A工程(アストバルチャー))

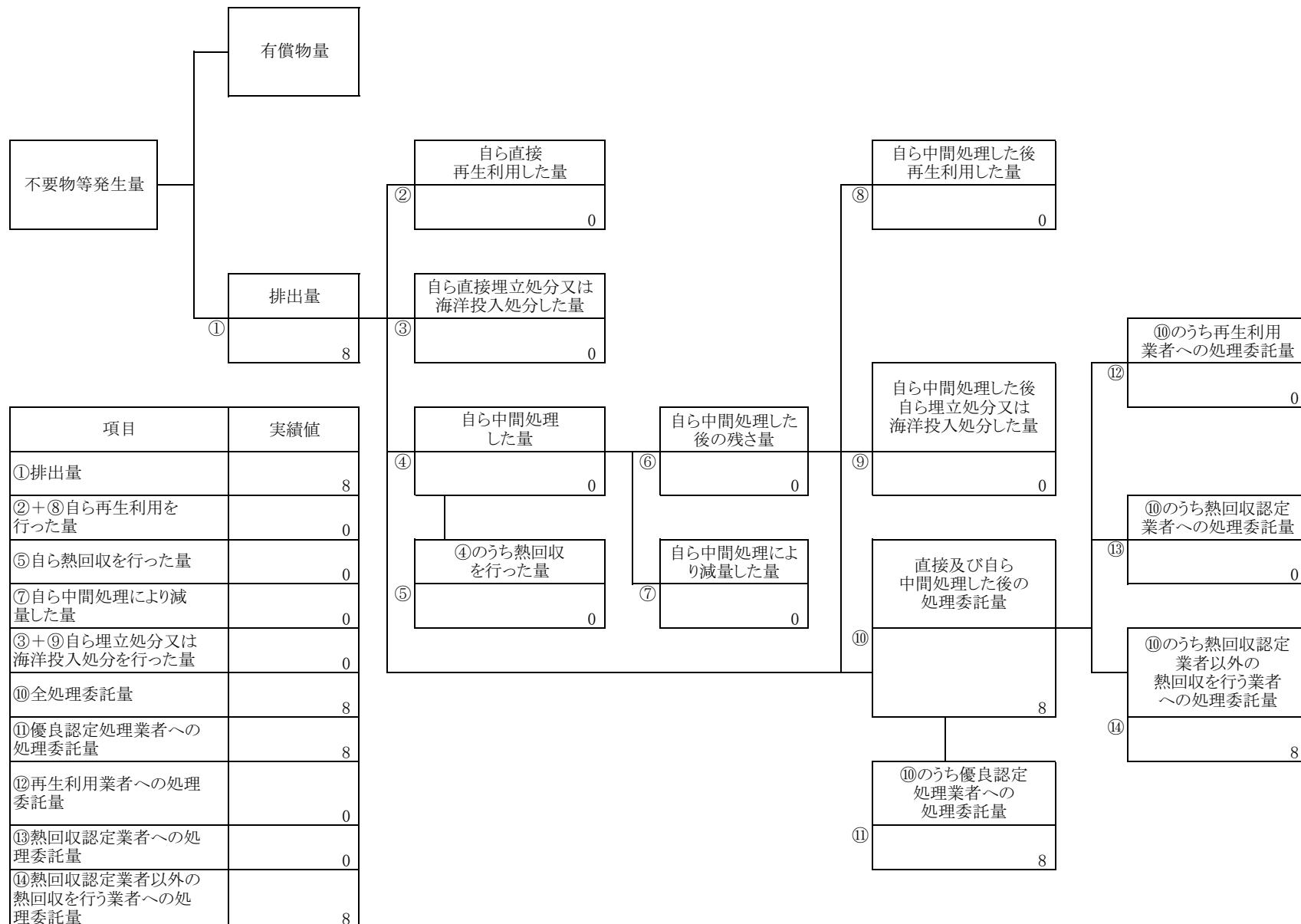
)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ⑨有機汚泥(ダイス前潤滑剤))

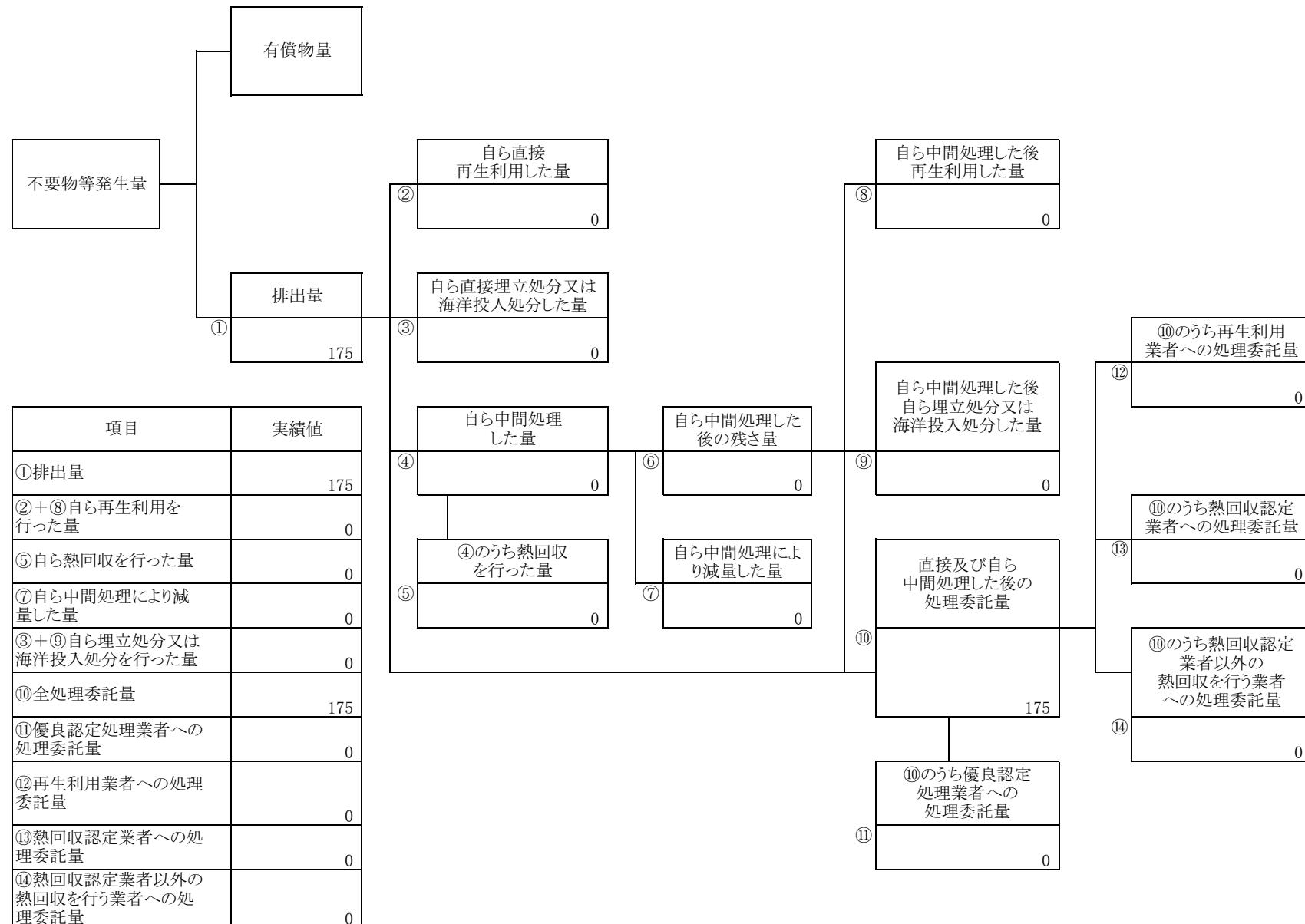
)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ⑩汚泥 A工程(冰処理脱水ケーキ))

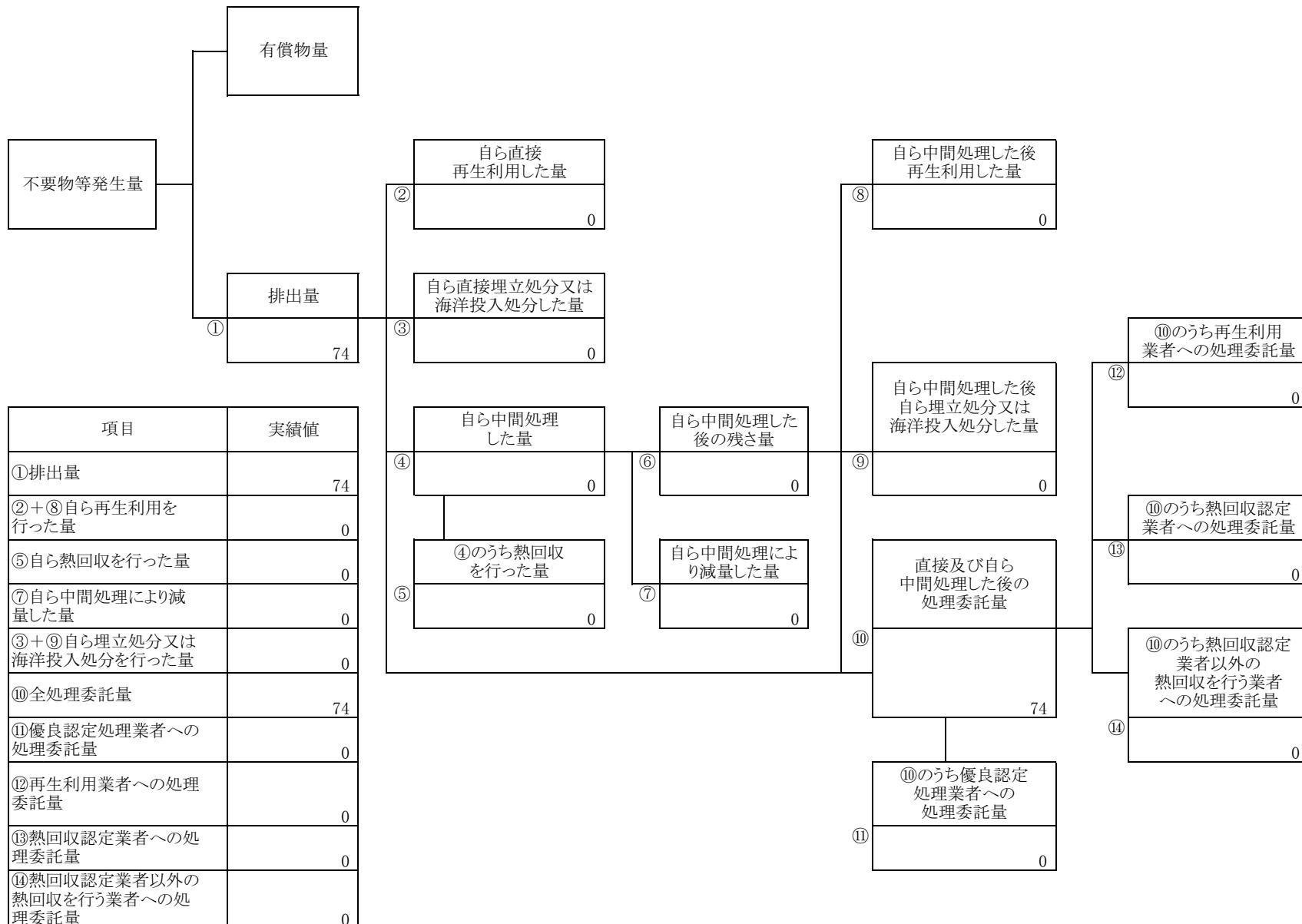
(第2面)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ⑪汚泥 B工程(ポンデ脱水ケーキ))

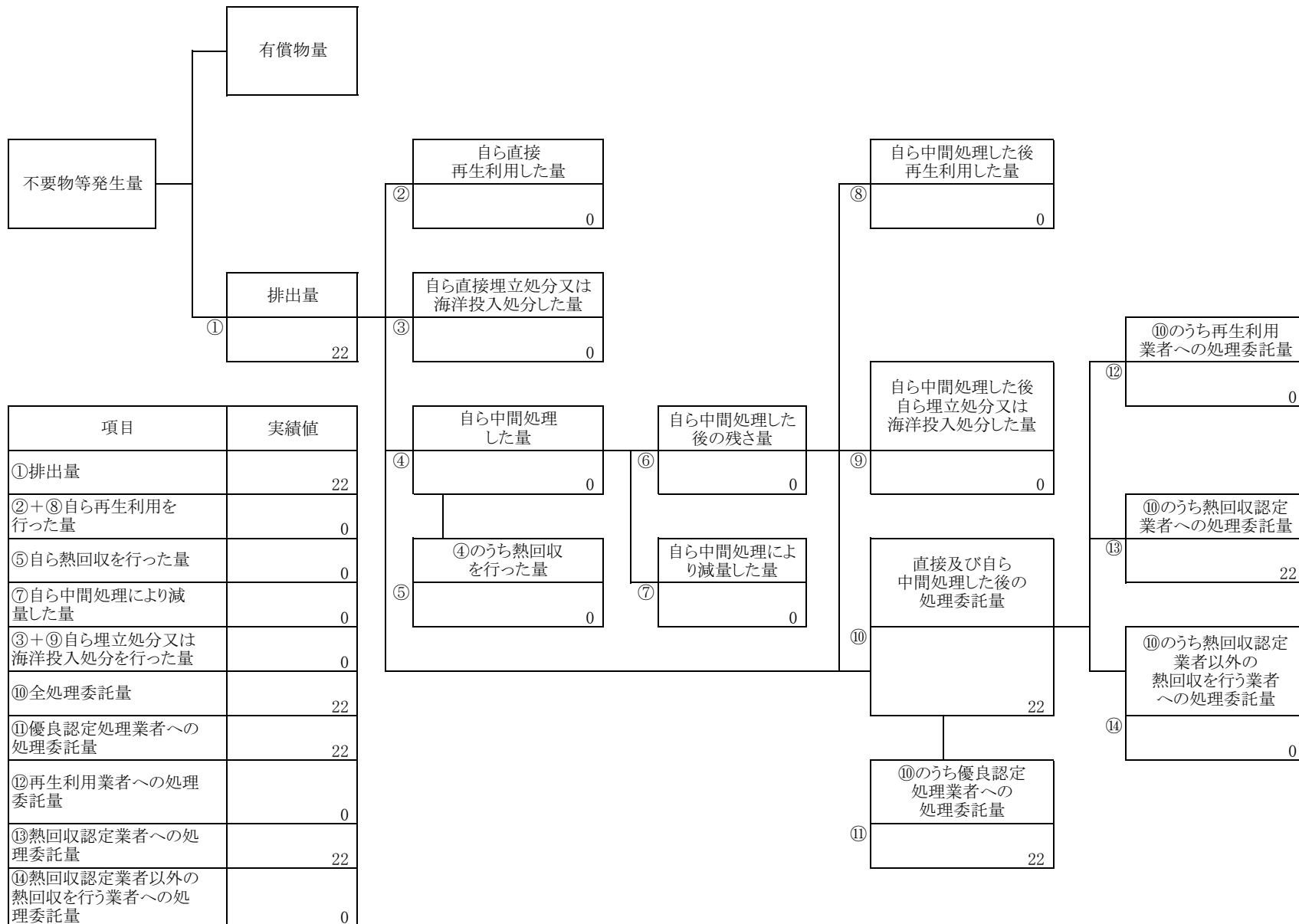
(第2面)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ⑫汚泥 C工程(ダイス前潤滑剤・掃きゴミ)

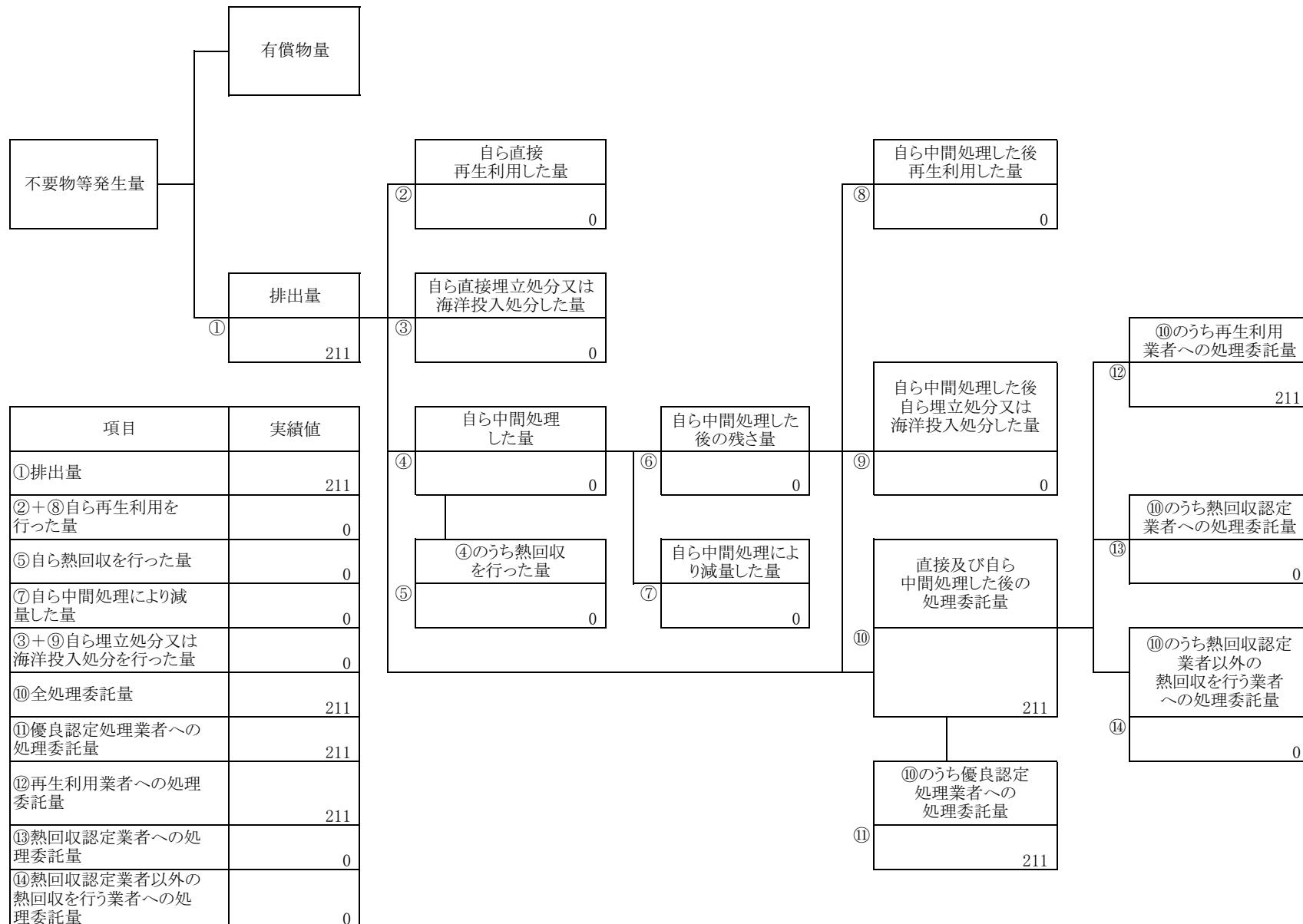
(第2面)



計画の実施状況

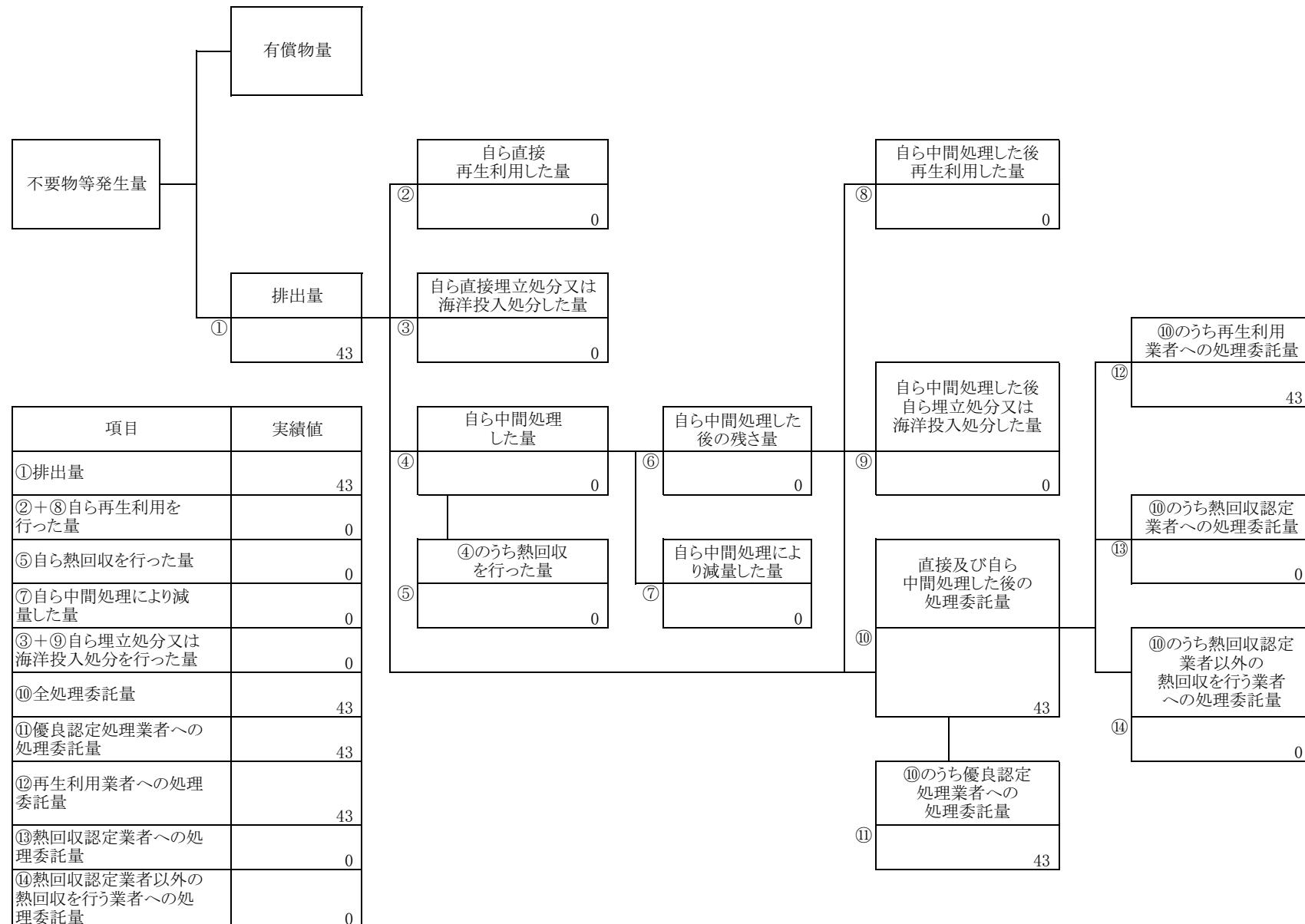
(産業廃棄物の種類: ⑬汚泥 D工程(エクラバー水))

(第2面)



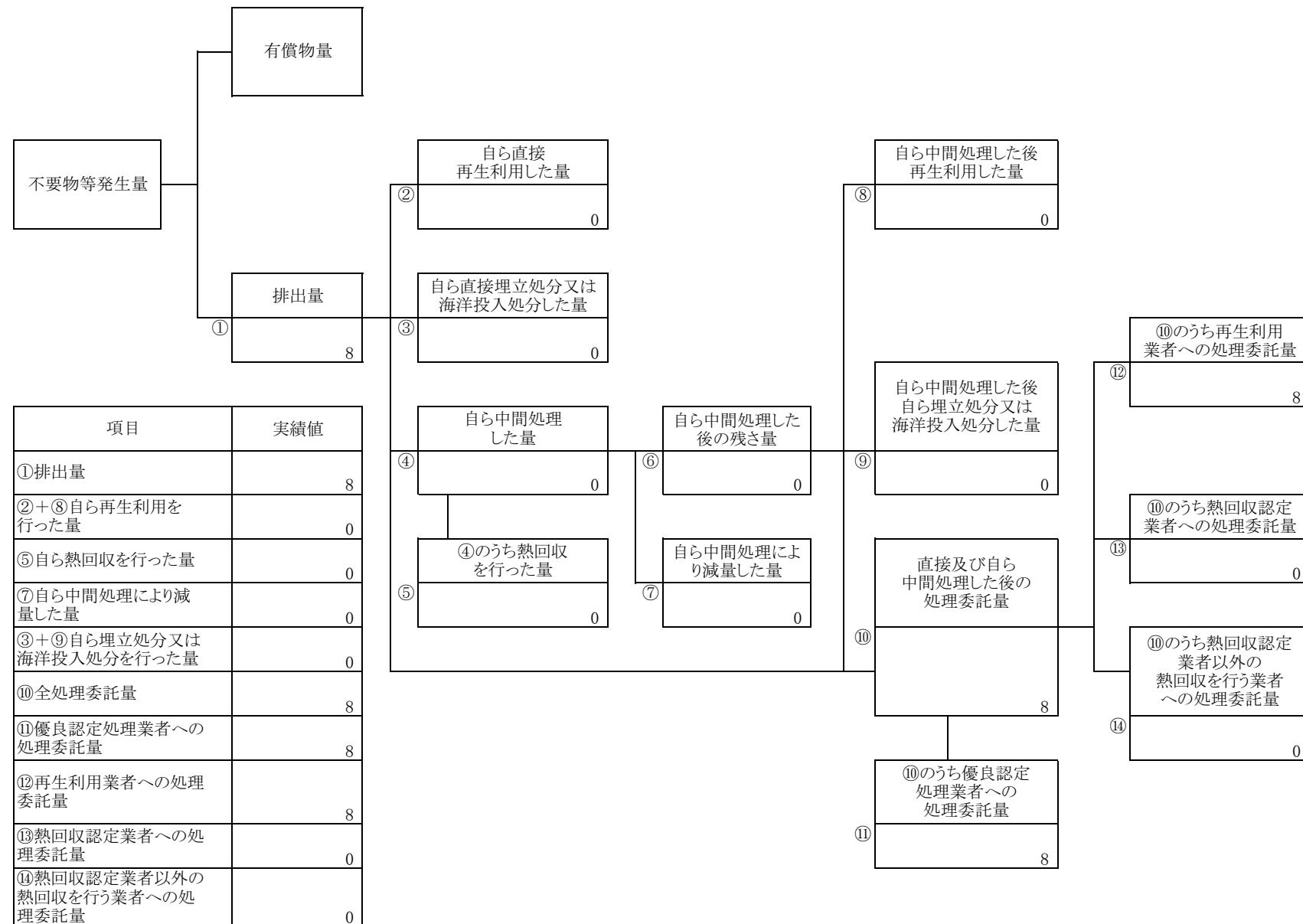
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ⑭汚泥 E工程(非リン))



計画の実施状況

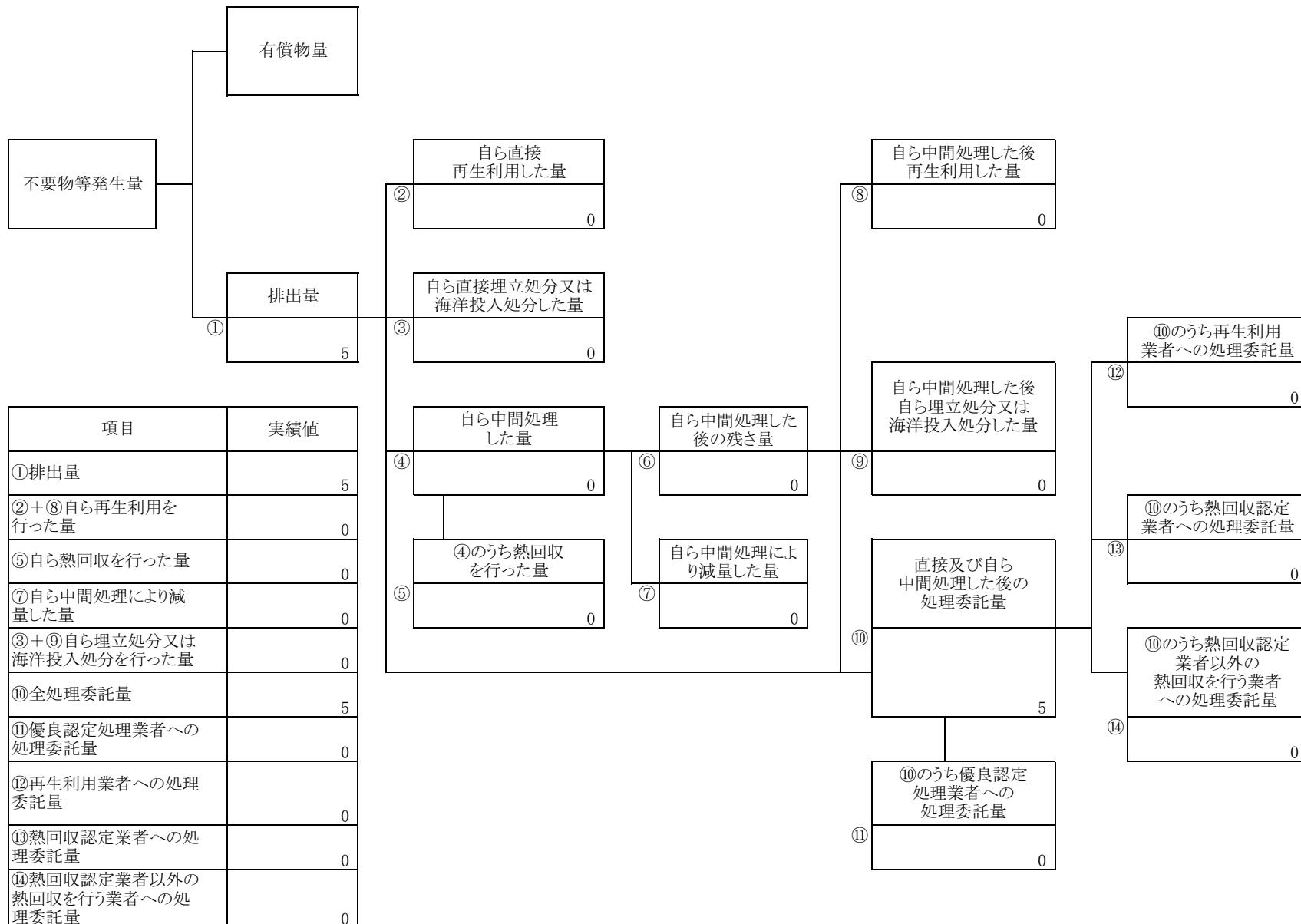
(産業廃棄物の種類: ⑯汚泥 F工程(石灰乳))



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ⑯廃プラスチック類(緩衝材・エコパイプ))

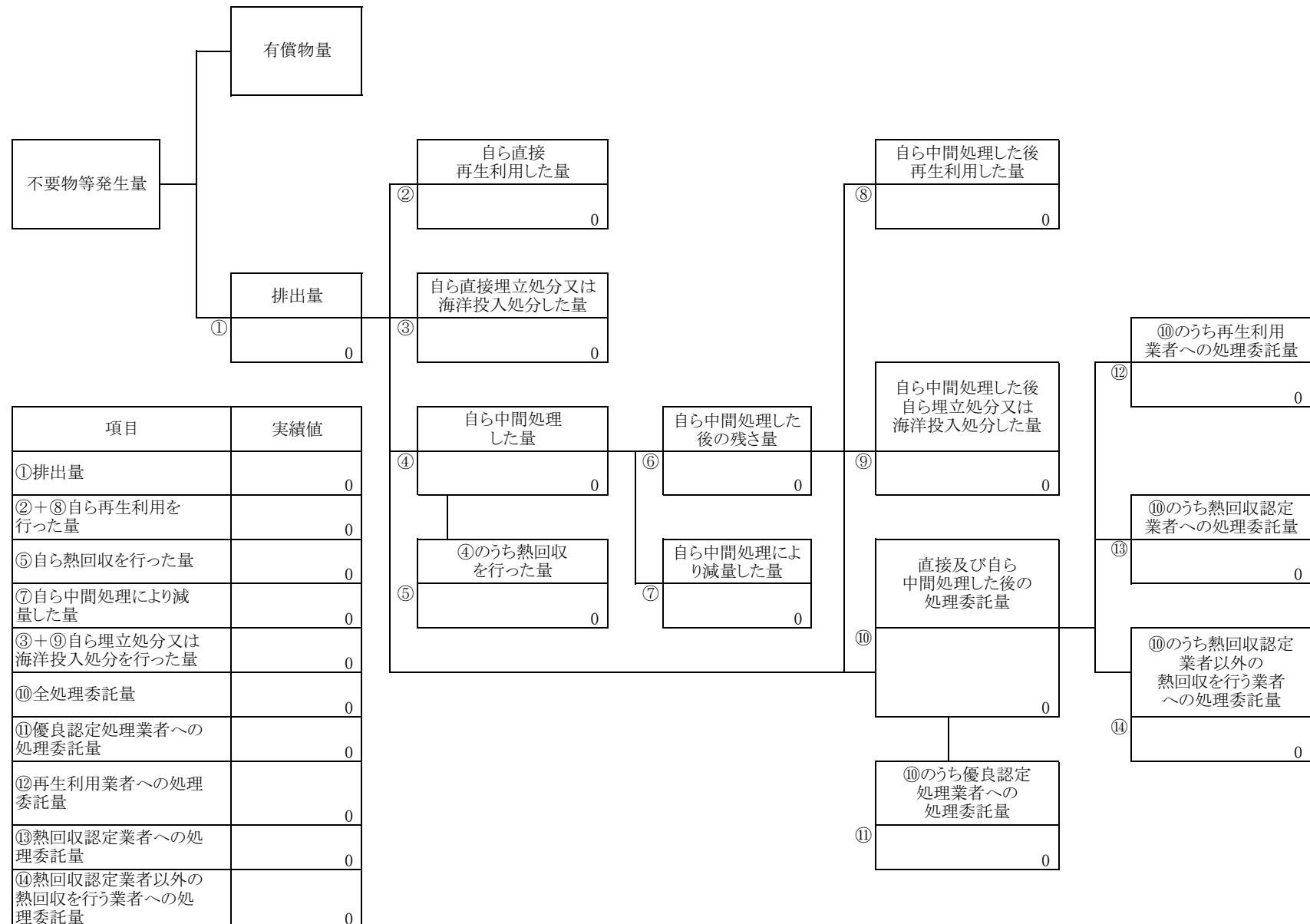
(第2面)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ⑯)

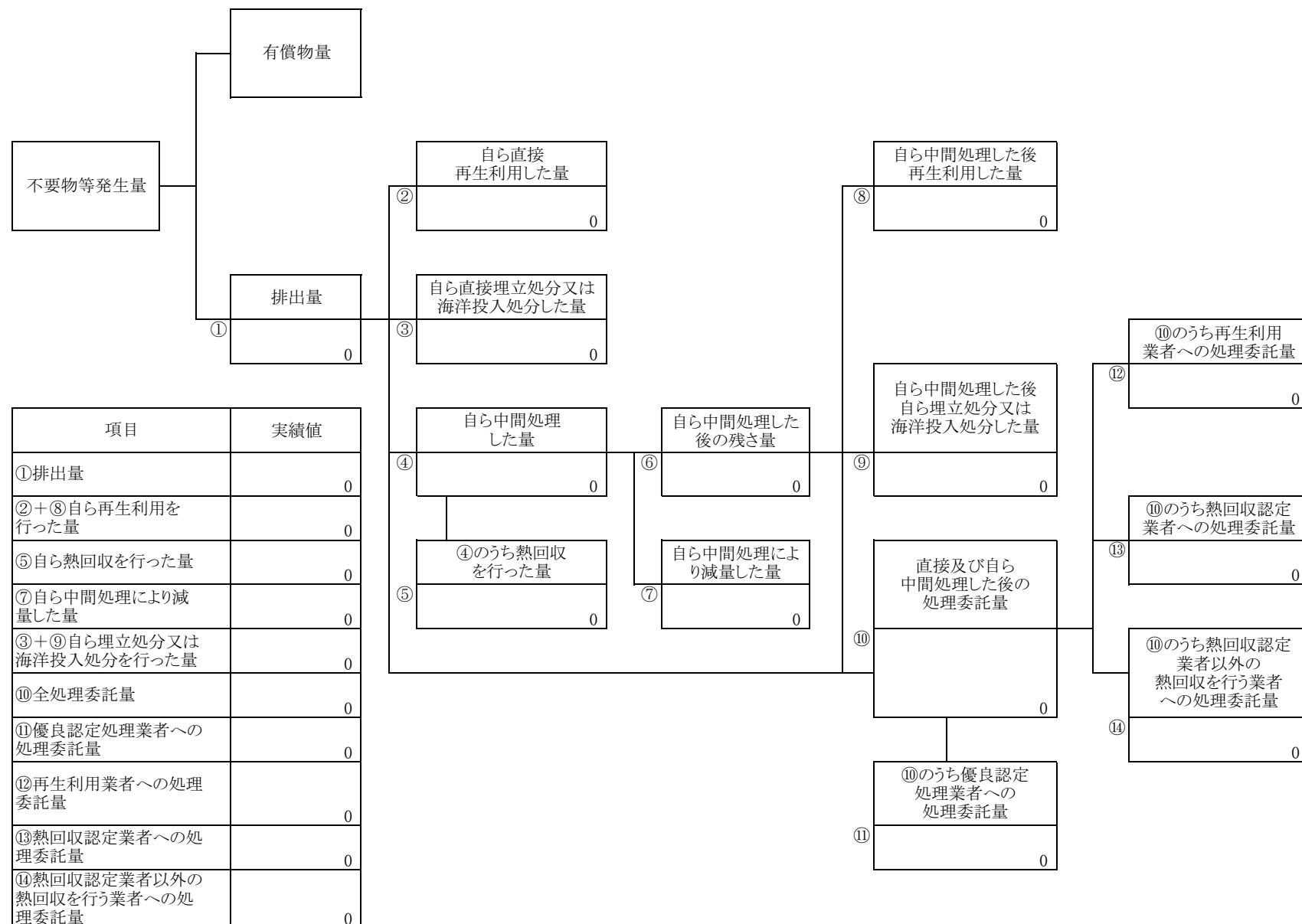
(第2面)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ⑯)

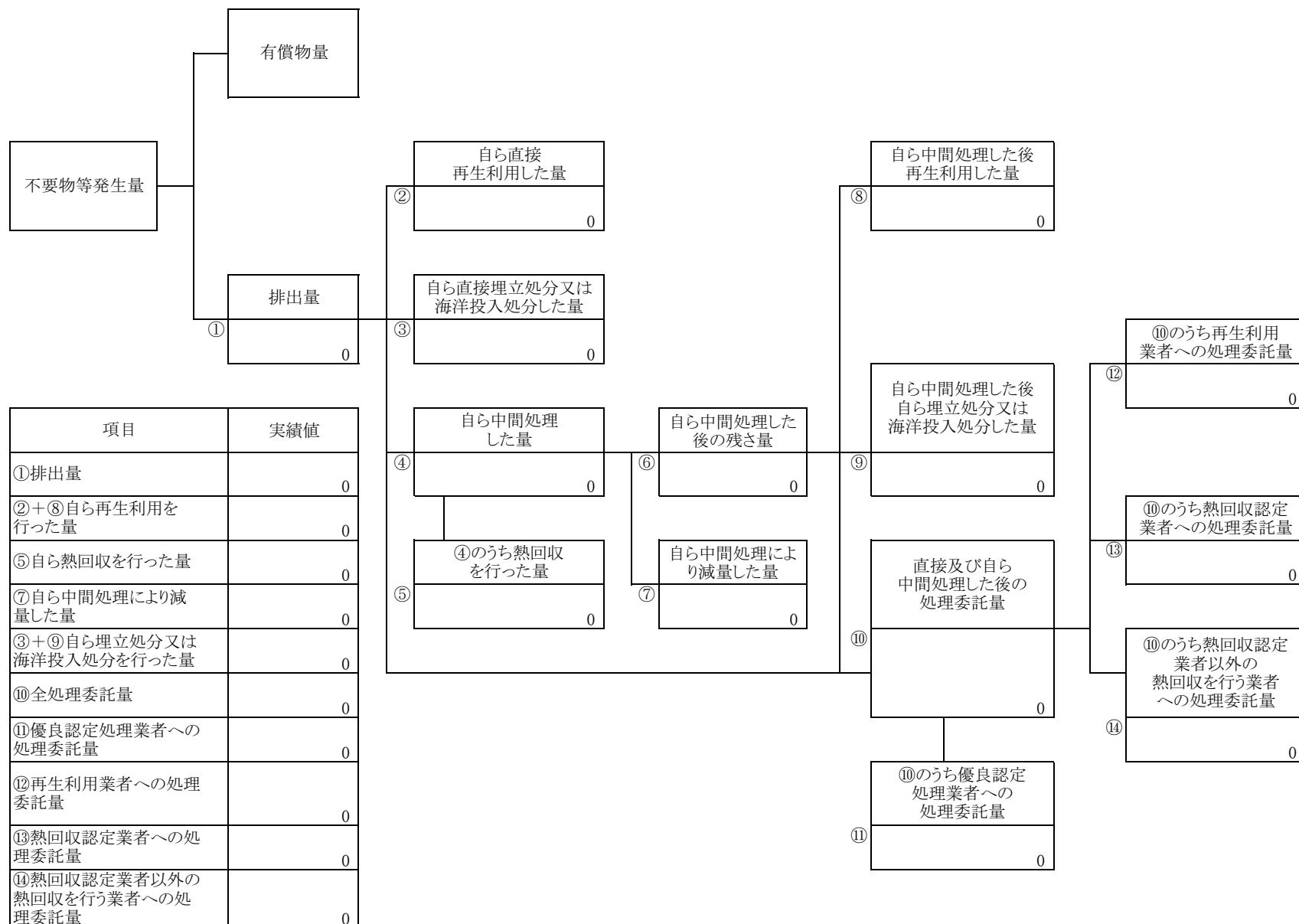
)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ⑯)

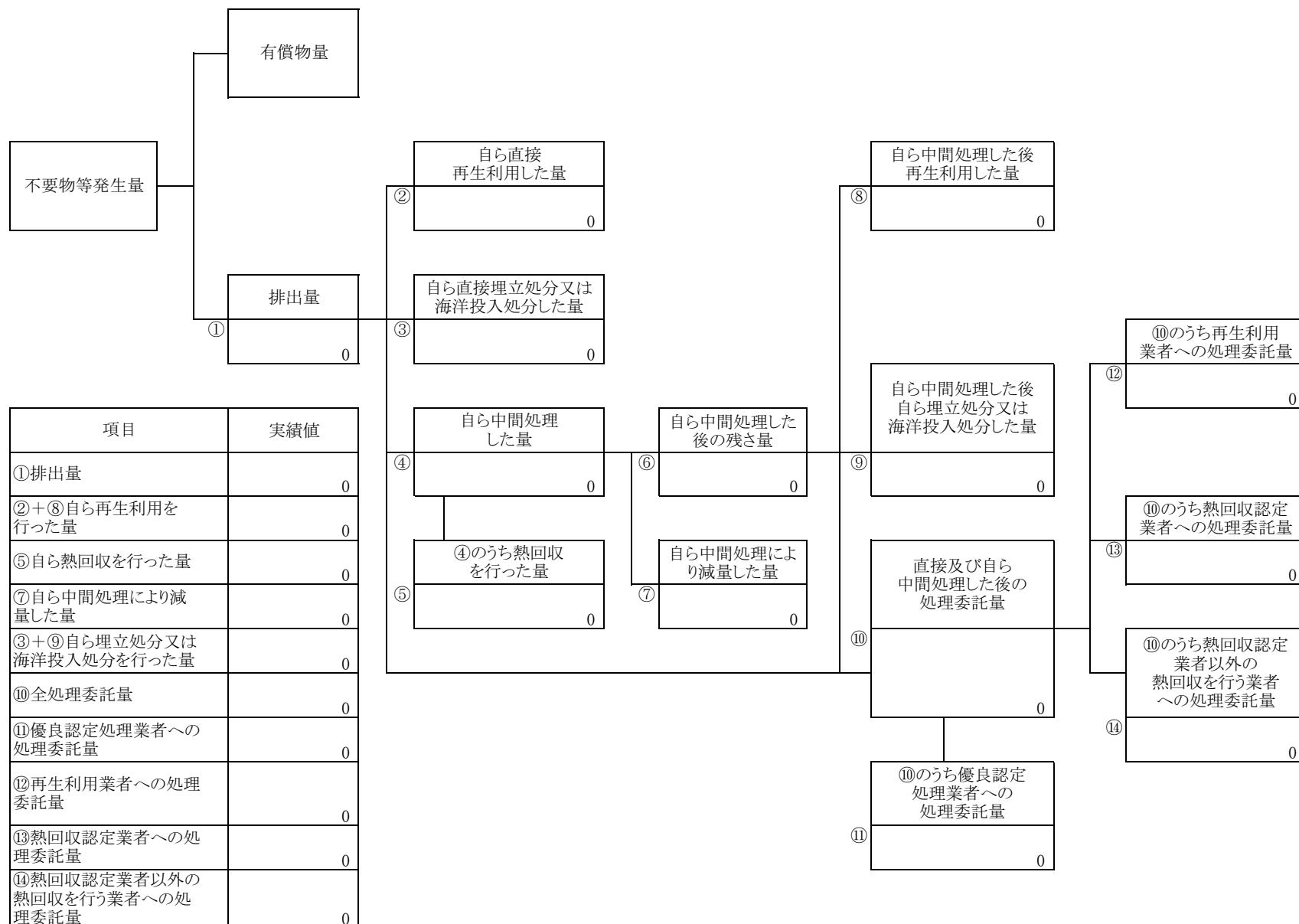
)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ⑩)

)



備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物処理について、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令 第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律 第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄には、何も記入しないこと。